



## 那珂川市自然環境観察員

### 令和元年度 観察結果報告書



那珂川市 市民生活部 環境課

## 活動報告～動物班～

### 調査の実施方法

- ◇場 所 安徳梶原川、山田～安徳区、山田区裂田溝、日吉神社、グリーンピアなかがわ 等
- ◇時 期 5/6、5/26、8/17、10/5、10/27
- ◇方 法 目視（双眼鏡・望遠鏡使用を含む）、鳴き声での確認、写真撮影での確認 等

### <調査・活動結果>



#### 1) カワムツ

河川の上流～中流の緩流域とそれに続く水路に生息しています。繁殖期は、5～8月で、底生動物、落下昆虫、付着藻類など動物食の強い雑食性です。那珂川市で最も多く見られる種です。



#### 2) アカザ「絶滅危惧Ⅱ類」

水のきれいな河川の上流～中流域の早瀬の浮石の下に生息しています。水生昆虫を主とする動物食で、土砂が流入すると生活できなくなります。背びれと胸びれに、有毒の棘があります。



#### 3) コチドリ

那珂川の中州で繁殖しています。砂地に小石で囲っただけの簡単な巣に、そのまま卵を産みます。全国的に見れば夏鳥ですが、福岡県では越冬の記録があります。那珂川市では今のところ、春から夏にしか見られていません。



#### 4) ヒヨドリの渡り

留鳥ですが、秋に群れとなって移動する様子が見られることから、冬に暖かい場所へ移るものも多いようです。飛び方は深い波形を描きます。体は地味な灰褐色で、頬あたりの褐色と冠羽を少し逆立てるのが特徴です。



#### 5) アサギマダラ

この白っぽい部分は、半透明の水色で、鱗粉が少ないです。5～10月によく見られます。アゲハ蝶かのように細かく羽ばたかずにふわふわと飛翔するのが特徴です。夏から秋にかけては、キク科植物の花によく集まり、吸蜜する姿が見られます。

## 活動報告～植物班～

### 調査の実施方法

◇場 所 中ノ島公園、日吉神社

◇時 期 4/7、6/8、6/15、7/6、7/13、9/18、9/26、9/30、10/7、11/2

◇方 法 目視、写真撮影での確認

### <調査・活動結果>



#### ◆木製ネームプレートの作成・取り付け

昨年度の活動で、ラミネート加工したネームプレートの取り付けを行いました。今年度の活動では、木製のネームプレートへ変更を行いました。

木製のネームプレートへ樹木名を1つ1つ手書きし、ドリルで穴を開け、針金を通します。その後、名前書きしたペンキが乾いたプレートから、見やすい高さ、向きを考え取り付けを行いました。

今年度は、計73枚のプレートを取り付けました。

中ノ島公園と日吉神社の樹木全てではありませんが、主な樹木へ取り付けし、植物に詳しくない方が見ても、一目見て樹木の名前が分かるように整備することができました。

## 活動報告～地形地質班～

### 調査の実施方法

- ◇場 所 安徳台周辺、下梶原、上梶原、南面里、片縄
- ◇時 期 5/11、9/8、11/23
- ◇方 法 目視、写真撮影での確認

### <調査・活動結果>



阿蘇火砕流の上に載る新規段丘上位層本層は、裂田川沿いの平坦地に分布し、粒子の配列、平坦面の傾斜から、堆積時には現在の裂田川とは反対方向に流れていました。



旧梶原川は針口を経て裂田神社方向に流れていました（新規段丘上位面を形成）が、針口で阿蘇火砕流を突破して五郎丸方面になりました（新期段丘下位面形成の頃）。



東方から梶原の低地を望みます。上梶原・下梶原には東から梶原川、平蔵川、城谷川が流れ、それぞれの河川沿いの低地には沖積層、河川間の微高地には新規（低位）段丘層が分布します。